

# これからの学校は どうあるべきか

いじめや児童虐待などの子どもの権利が侵害される事案が後を絶ちません。2023年4月に施行されたこども基本法は、すべての子どもが幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、子ども政策を総合的に推進することを目的としています。

講演では、すべての子どもに教育を通して『自己実現の保障』を実現するために学校はどうあるべきか、教育政策はどうあるべきかについてお話しいただきます。

講演やシンポジウムを通して、学校生活での居場所の保障と教育活動の充実について一緒に考えませんか？

2023年 **11月12日(日)** 13時30分～17時

新大阪丸ビル 新館602号室

対象： 本学会員・教職員・SSW等



参加費 会員：無料 非会員：1,000円  
なお、今回、日本学校ソーシャルワーク学会に入会される方は無料になります

基調講演 13：30～

「子どもの育ちと学びを考える  
子どもの権利・こども基本法を手がかりに」

講師：末富 芳 教授（日本大学）

シンポジウム 15：20～17：00

「子どもの学校生活を豊かにする仕組みづくり」

シンポジスト：

武田 緑 さん（NPO法人SchoolVoiceProject）

北村 将 さん（草津市教育委員会児童生徒支援課課長）

大台 賢史さん（尼崎市チーフSSW・宝塚市・おおい町教委SSW）

コーディネーター：

馬場 幸子（関西学院大学、日本学校ソーシャルワーク学会近畿ブロック委員長）

## 講師紹介

### 末富 芳 教授

日本大学文理学部教育学科教授。専門は教育行政学、教育財政学。  
2014年より内閣府・子どもの貧困対策に有識者として参画され、現在、  
こども家庭庁こども家庭審議会こどもの貧困・ひとり親部会委員も務めておられる。  
「子どもの貧困対策と教育支援——より良い政策・連携・協働のために」明石書店  
新・教育の制度と経営 ウェルビーイング追求時代における教師の仕事」学事出版

## シンポジスト紹介

武田 緑さん

NPO法人 School Voice Project 理事・事務局長・教育ファシリテーター

北村 将さん

現滋賀県草津市教育委員会児童生徒支援課課長

元滋賀県教育委員会幼少中教育課生徒指導・いじめ対策支援室主査

大台 賢史さん

桃山学院教育大学非常勤講師 尼崎市SSW事業の立ち上げから関わる



「スクールソーシャルワーカー」の常勤化を訴え 教員不足・不登校児童の解決へ

社会部 林英美

2023年5月24日 水曜 午後5:29

研修会の申し込みはこちらから

SSWの常勤化について～2023. 5月  
文科省にて記者会見される末富教授（左）、SVP武田氏（右）

FNNニュース、朝日新聞（社説）、教育新聞等にマスコミで大きく報道されました。日本大学の末富教授は会見で「子どもが暴言を吐いたときに、学校の先生は指導しなきゃとなるが、スクールソーシャルワーカーは、この子はなぜ暴言を吐くのかなという違うアプローチがとれる」とし、福祉職は子どもを取り巻く世界を見ながら一緒に寄り添い、行動していくことができる専門職であると強調した（FNNニュース記事）

日本学校ソーシャルワーク学会への入会のご案内 入会申込書：

[https://www.jsssw.jp/wp-content/uploads/2022/07/nyuukai\\_202009.pdf](https://www.jsssw.jp/wp-content/uploads/2022/07/nyuukai_202009.pdf)